

【研修コース概要】

①技術移転実践コース[基本コース]

技術移転の実践指導を通じて、また必要に応じて座学や外部研修も活用して、実務に必要な技術移転のスキル・知識・経験の習得を目指す、実践的な研修コースです。研修期間は2年間を想定しています(2年度目は1年度目のフォローアップ研修)。基本的なカリキュラムをもとに受講者のレベル・要望に応じてカリキュラムを設定します。研修実施時間は延べ100時間程度(1年度目と2年度目の合計)とします。

想定する受講対象者:

- ・コーディネーター、URA等の専門職又は事務職員で、産学連携・技術移転に関する1年程度以上の実務経験がある方(意欲の強い方であれば、実務経験年数を問わない)。
- ・1年程度以内に大学等での産学連携・技術移転業務に従事することを希望する方

②個別案件メンタリングコース

発明発掘からライセンス契約に至る技術移転の各実務において、受講者が大学で担当している個別案件について、TLOがメンターとして指導し、解決へ導くことを目指す実践的な研修コースです。研修実施時間は、50時間以内とします。

想定する受講対象者:

- ・コーディネーター、URA等の専門職又は事務職員で、産学連携・技術移転に関する1~2年程度以上の実務経験がある方(意欲の強い方であれば、実務経験年数を問わない)

【研修を実施するTLOと研修内容概要】 (予定)

TLO略称 (正式名称)	TLO所在地、連絡先 (主な実施場所)	研修募集コース 及び募集人員	主な研修内容・分野・特徴等	主な講師(役職) 経験期間	プロフィール、分野等
信州TLO (株信州TLO)	〒386-8567 長野県上田市常田3-15-1 信州大学繊維学部内 R棟4F http://www.shinshu-tlo.co.jp/	①基本 1名 ②個別 1名	主な項目: 各種契約書の確認と解説、ライセンス契約と独占禁止法解説、発明者ヒヤリング、事例分析と顧客対応の立案、顧客対応・訪問等 時間配分として事例分析と立案、顧客対応などに重点を置いた研修を予定。	1.大澤住夫(代表取締役社長) 経験期間 約16年 2.勝野進一 (技術移転グループ 部長) 経験期間 約10年 3.篠塚由紀(技術移転グループ長) 経験期間 約14年	1.エンジニアリング分野を中心とした技術移転の他、研究開発事業のマネジメントを担当 2.エンジニアリング分野を中心とした技術移転の他、研究開発事業のマネジメントを担当 3.ライフサイエンス分野を中心とした技術移転を担当
中部TLO (公益財団法人名古屋産業科学研究)	〒464-8603 名古屋市千種区不老町 名古屋大学VBL棟4階 http://www.nisri.jp/ctlo/	①基本 1名 ②個別 1名	主な項目: ①(座学)特許調査、契約一般、知財管理、技術の概要書作成、研究企画、産学連携支援制度等 ①②(実践)企業ニーズ調査、大学シーズ発掘、ロールプレイ、研究者ヒヤリング、技術提案、ネットワーキング等 分野:工学系及びバイオ系(複数のアドバイザー在籍)	1.羽田野泰彦(事業部長) 経験期間 約10年 2.大森茂嘉 (コーディネータ、元技術顧問) 経験期間 約18年 3.小澤理夫(技術顧問、元事業部長) 経験期間 約12年	1.バイオ系企業・ベンチャーを経て、当所で産学連携、技術移転、海外企業と大学の協業、ベンチャー支援等に従事。バイオ医薬分野担当 2.化学品専門商社で約25年間の開発営業を経て、産学官連携業務全般に従事。化学分野全般担当 3.大手セラミック業界を経て、産学連携業務全般及びベンチャー起業支援に従事。工学系分野全般担当
関西TLO (関西ティー・エル・オー(株))	〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学 国際科学イノベーション棟4階 https://www.kansai-tlo.co.jp/	②個別 3名	発明発掘からライセンス契約に至る技術移転の各実務において、受講者が大学で担当している個別案件について抱えている課題について、メンターとして指導し解決へ導く。 主な項目: 承継判断、特許出願戦略、ポテンシャル企業の探索、契約条件立案、契約交渉など。	1.橋本和彦 (広域事業部門 部門長) 経験期間 約9年 2.石田政隆 (広域事業部門 弁理士) 経験期間 約14年	1.体外診断用医薬品メーカーを経て、関西TLOに入社。 技術移転件数 36件、技術移転収入 45百万円 技術分野: 材料、ライフサイエンス、機械・装置など 2.スポーツ用品メーカー、特許事務所、大学的財産本部を経て 関西TLOに入社。 技術移転件数 4件、技術移転収入 17百万円 技術分野: 化学、機械・装置、材料、電気・電子など (共に直近3年間実績)
四国TLO (株テクノネットワーク四国)	〒760-0016 香川県高松市幸町1番1号 香川大学 幸町北キャンパス研究交流棟3階 http://www.s-tlo.co.jp/	②個別 2名	主な項目: (導入研修)発明ヒヤリングと評価、特許取り扱い、マーケティング、契約、企業ニーズ対応、研究開発助成事業の活用 (個別案件対応)2時間×6ヶ月の相談対応を想定。対面またはWeb会議・電話・e-mail等に対応。	1.兼平重和(代表取締役社長) 経験期間 約21年 2.辻本和敬(技術移転部 部長) 経験期間 約15年 3.矢野慎一 (徳島大学拠点リーダー) 経験期間 約10年	1.H13年四国TLO技術移転部長、H18年同社取締役、H28年から現職、技術移転業務全般を経験 2.H16年四国TLO入社、H23年技術移転部マネージャー、本年より現職 企業へのマーケティングを通じたオプション契約、ライセンス契約の締結など 3.H21年四国TLO入社、H30年より現職 企業へのマーケティングを通じたオプション契約、ライセンス契約の締結など

※研修募集コース: ①技術移転実践コース [基本コース] (①基本)、 ②個別案件メンタリングコース(②個別)

【受講経験者のアドバイス】

2~3年程度、技術移転業務を経験しているものの、所属組織に指導者役となる方がいないため、受講しました。TLOの方との企業訪問やUNITTライセンスアソシエイト研修へ参加するなど、体系的・実践的に技術移転業務を学ぶことができ、自分の業務の位置付けが明確になりました。特に、所属組織内で相談できる人が限られている場合、受講者間の情報交換によって業務遂行のためのヒントを得られる非常に良い機会になると思います。

他の機関がどのような方法・体制で技術移転業務を行っているかを知りたく受講しました。研修では、TLOの方に惜しげもなくノウハウを提供していただき、単に知識を得るためだけの研修ではないことを実感しました。自機関と他機関との違いを体感し、自己の活動を見直して模索する良い機会になると思います。